NOVARTIS

ルセンティス適正使用_mCNV

ルセンティス適正使用

投与方法について

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、こちらをご参照ください。

【用法及び用量】

病的近視における脈絡膜新生血管

ラニビズマブ（遺伝子組換え）として1回あたり0.5mg（0.05mL）を硝子体内投与する。投与間隔は、1ヵ月以上あけること。

＜用法及び用量に関連する使用上の注意＞

病的近視における脈絡膜新生血管の場合

1. 定期的に視力等を測定し、その結果及び患者の状態を考慮し、本剤投与の要否を判断すること。
2. 疾患の活動性を示唆する所見（脈絡膜新生血管、視力低下等）が認められた場合に投与することが望ましい。
3. 本剤による治療を開始するに際し、疾患・病態による視力等の予後を考慮し、本剤投与の要否を判断すること。
4. 定期的に有効性を評価し、有効性が認められない場合には漫然と投与しないこと。
5. 臨床試験においては、両眼治療は行われていない。両眼に治療対象となる病変がある場合は、両眼同時治療の有益性と危険性を慎重に評価した上で本剤を投与すること。なお、初回治療における両眼同日投与は避け、片眼での安全性を十分に評価した上で対側眼の治療を行うこと。

Image

弊社製品についてのお問い合わせ

お問い合わせ

Source URL: *https://www.pro.novartis.com/jp-ja/products/lucentis/mcnv/point*